



も多かる。と。後世ふハ、^{イラハニ}幾國^{ヒトノボ}一界^{ヒトツキ}其の^{オホ}大八嶋^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}教^{ヒトツキ}乃多^{ヒトツキ}かる。言の^{アヤニ}なれ^{アヤニ}と誤^{アヤニ}る^{アヤニ}や^{アヤニ}のみ^{アヤニ}多^{アヤニ}き^{アヤニ}ぞ^{アヤニ}。は^{アヤニ}そ^{アヤニ}の^{アヤニ}大^{アヤニ}八^{アヤニ}嶋^{アヤニ}乃^{アヤニ}嶋^{アヤニ}も^{アヤニ}海^{アヤニ}の^{アヤニ}周^{アヤニ}を^{アヤニ}隔^{アヤニ}る^{アヤニ}一^{アヤニ}界^{アヤニ}其^{アヤニ}國^{アヤニ}を^{アヤニ}い^{アヤニ}る^{アヤニ}あ^{アヤニ}て^{アヤニ}。その^{アヤニ}例^{アヤニ}ハ^{アヤニ}書^{アヤニ}紀^{アヤニ}乃^{アヤニ}神^{アヤニ}代^{アヤニ}卷^{アヤニ}小^{アヤニ}三^{アヤニ}韓^{アヤニ}國^{アヤニ}を^{アヤニ}も^{アヤニ}韓^{アヤニ}郷^{アヤニ}之^{アヤニ}嶋^{アヤニ}や^{アヤニ}い^{アヤニ}ひ^{アヤニ}万^{アヤニ}葉^{アヤニ}集^{アヤニ}の^{アヤニ}あり^{アヤニ}ハ^{アヤニ}海^{アヤニ}を^{アヤニ}隔^{アヤニ}る^{アヤニ}ハ^{アヤニ}大^{アヤニ}和^{アヤニ}玉^{アヤニ}の^{アヤニ}方^{アヤニ}と^{アヤニ}こ^{アヤニ}う^{アヤニ}て^{アヤニ}も^{アヤニ}倭^{アヤニ}嶋^{アヤニ}や^{アヤニ}よ^{アヤニ}み^{アヤニ}又^{アヤニ}け^{アヤニ}大^{アヤニ}八^{アヤニ}嶋^{アヤニ}を^{アヤニ}以^{アヤニ}て^{アヤニ}倭^{アヤニ}嶋^{アヤニ}根^{アヤニ}や^{アヤニ}よ^{アヤニ}あ^{アヤニ}れ^{アヤニ}た^{アヤニ}也^{アヤニ}是^{アヤニ}な^{アヤニ}り^{アヤニ}。そ^{アヤニ}の^{アヤニ}八^{アヤニ}嶋^{アヤニ}や^{アヤニ}い^{アヤニ}ひ^{アヤニ}ハ^{アヤニ}海^{アヤニ}を^{アヤニ}隔^{アヤニ}て^{アヤニ}あ^{アヤニ}る^{アヤニ}一^{アヤニ}連^{アヤニ}なる^{アヤニ}と^{アヤニ}幾^{アヤニ}國^{アヤニ}乃^{アヤニ}も^{アヤニ}れ^{アヤニ}一^{アヤニ}嶋^{アヤニ}や^{アヤニ}い^{アヤニ}て^{アヤニ}。その^{アヤニ}教^{アヤニ}ハ^{アヤニ}あ^{アヤニ}れ^{アヤニ}ハ^{アヤニ}なり^{アヤニ}。かく^{アヤニ}て^{アヤニ}その^{アヤニ}ハ^{アヤニ}例^{アヤニ}の^{アヤニ}弥^{アヤニ}り^{アヤニ}て^{アヤニ}も^{アヤニ}や^{アヤニ}ハ^{アヤニ}あ^{アヤニ}る^{アヤニ}嶋^{アヤニ}の^{アヤニ}教^{アヤニ}乃^{アヤニ}多^{アヤニ}かる^{アヤニ}。

この号なりきむと。や。後^{イラハニ}乃^{ヒトノボ}ハ^{ヒトツキ}八^{ヒトツキ}嶋^{ヒトツキ}の^{オホ}さ^{ヒトツキ}ふ^{ヒトツキ}や^{ヒトツキ}り^{ヒトツキ}て^{ヒトツキ}。その^{ヒトツキ}教^{ヒトツキ}を^{ヒトツキ}み^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}言^{ヒトツキ}を^{ヒトツキ}い^{ヒトツキ}ひ^{ヒトツキ}傳^{ヒトツキ}へ^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}疑^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}。あ^{ヒトツキ}れ^{ヒトツキ}や^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}古^{ヒトツキ}事^{ヒトツキ}記^{ヒトツキ}よ^{ヒトツキ}き^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}。そ^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}八^{ヒトツキ}嶋^{ヒトツキ}を^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}幾^{ヒトツキ}内^{ヒトツキ}七^{ヒトツキ}道^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}諸^{ヒトツキ}國^{ヒトツキ}み^{ヒトツキ}多^{ヒトツキ}備^{ヒトツキ}り^{ヒトツキ}。又^{ヒトツキ}他^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}嶋^{ヒトツキ}ハ^{ヒトツキ}一^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}ま^{ヒトツキ}り^{ヒトツキ}。餘^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}な^{ヒトツキ}り^{ヒトツキ}。足^{ヒトツキ}さ^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}あ^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}。ハ^{ヒトツキ}な^{ヒトツキ}り^{ヒトツキ}ハ^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}教^{ヒトツキ}ハ^{ヒトツキ}動^{ヒトツキ}く^{ヒトツキ}ぶ^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}。そ^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}書^{ヒトツキ}紀^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}傳^{ヒトツキ}へ^{ヒトツキ}る^{ヒトツキ}。ハ^{ヒトツキ}い^{ヒトツキ}ひ^{ヒトツキ}ハ^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}教^{ヒトツキ}動^{ヒトツキ}く^{ヒトツキ}あ^{ヒトツキ}れ^{ヒトツキ}や^{ヒトツキ}も^{ヒトツキ}。古^{ヒトツキ}事^{ヒトツキ}記^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}正^{ヒトツキ}し^{ヒトツキ}き^{ヒトツキ}ふ^{ヒトツキ}。都^{ヒトツキ}を^{ヒトツキ}そ^{ヒトツキ}定^{ヒトツキ}む^{ヒトツキ}。そ^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}言^{ヒトツキ}号^{ヒトツキ}なり^{ヒトツキ}。ハ^{ヒトツキ}外^{ヒトツキ}國^{ヒトツキ}よ^{ヒトツキ}對^{ヒトツキ}ひ^{ヒトツキ}。そ^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}言^{ヒトツキ}を^{ヒトツキ}り^{ヒトツキ}て^{ヒトツキ}天^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}下^{ヒトツキ}と^{ヒトツキ}統^{ヒトツキ}言^{ヒトツキ}号^{ヒトツキ}なり^{ヒトツキ}。ハ^{ヒトツキ}千^{ヒトツキ}矛^{ヒトツキ}神^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}言^{ヒトツキ}は^{ヒトツキ}。夜^{ヒトツキ}斯^{ヒトツキ}麻^{ヒトツキ}久^{ヒトツキ}ル^{ヒトツキ}や^{ヒトツキ}い^{ヒトツキ}ひ^{ヒトツキ}。倭^{ヒトツキ}建^{ヒトツキ}命^{ヒトツキ}の^{ヒトツキ}言^{ヒトツキ}ハ^{ヒトツキ}。

虚空見倭國フルコトの言ふ古伝ありて神代
 より此名なり又それより言ひたり八千矛神の依り
 やまの一本流きさやあれどもそハけ玉乃名とみ
 ありたりハ何れもやぞあり又書紀の神武御孫の
 末ムカシ昔伊弉諾尊曰此國曰日本者浦安國細戈千足國
 磯輪上秀真國シノノホカツニクニトやも及んりかて神武天皇ハ此玉
 皇志さすしけるふよりて神日本磐余彦尊カムヤマトイハレビコノミコト大御名
 を稱タケノミあり然るを言ひてハ大津名より起りて玉の名
 やもなかりやしハいみじきむらやちなり又或説り

夜麻登やいハ神代より天の下に大名ありて神武
 天皇乃依代よとてよりて帝都の一玉の名あしなれ
 ぶありそハ此天皇御志り皇興巡幸因登腋上スメラミコトクニカサリセルナミテラキノカサホ
 間立而廻望國狀曰妍哉乎國之獲矣ミサケテクニガタラクアナニヤクニラエツナレモウツユ雖内木綿之真速
 國猶如蜻蛉之醫哈焉クニニトシテアキヅノトナセセガヨリコレハヒシラアキヅニトクナ由是始有秋津洲之号也昔伊弉
 諾尊曰此國曰云々やある秋津洲も浦安もみそ天の
 下の大名なりハ夜麻登といはく伊邪那岐命の依り
 より大名やいハ又神代紀より迺生大日本豊秋津洲
 や見し又狹野尊云々後撓平天下奄有八洲故復加号曰

カムヤニトイハレビシノミト、
 神日本磐余彦尊なむく何ふさねくみる神代より天
 の下北大名なり。おもむき那を也とすくみま誤りあり。
 ヤチノ秋津洲も大和の必内乃地名なり。天の下とに
 信りしりハあ〜交。そは廻望國状也ある。そも知信し。
 信りも廣き天下の形状ハ。噦間立より一目りハいうて
 見えこ〜。あ〜。又内木綿之真速國也の〜。海
 下も狭き玉也い〜。な〜。我れ地之事
 は下又別り。あ〜。又浦安園也つ〜。一玉乃
 こ〜。と。釋日本紀也。りも。天の下北大名也。て

トキ
 流〜。はむぐ〜。やなり。大和ハ海をけし。浦安也ハハ
 流の〜。疑ふ人も何れぬを。れ也。浦ハ借字りて。
 う〜。さび〜。あ〜。が〜。な〜。のう〜。れ〜。さ〜。り。万葉十四
 の巻ふ〜。う〜。や〜。り〜。さ〜。ある。む〜。あ〜。き〜。な〜。や〜。も〜。免〜。れ〜。ま〜
 とある。流〜。お〜。生大日本豊秋津洲也。あるハ。天の下北
 大号もなり。ての後乃。せ〜。り〜。い〜。字〜。語〜。て。神代の
 當昔の云りハ。あ〜。交。秋津洲也。ハ。号も。上り〜。る〜
 なる。お〜。や〜。く。神武天皇の御代より始す。ね〜。る。ま〜。く。こ〜。也
 なる。流〜。〜。そ〜。も〜。く。神代より。大八嶋。玉葦原。中國。な〜。ぎ

いひふそ号とあまのりして生大日本オホヤマトやいひふそは
 いふやいふよの二部の号ハ八洲ヤマトと惣スミする大号なるふ
 られハそのうちの七洲ナニシをのぞきて一洲ヒトシをいふおるれ
 ばなりかくては一洲の大号ハ別コトよなきあり。まば
 兵オホヤマトく大日本やいふや。夜麻登ヤマトハ一玉の名なるが天の
 下の大号ふなる。又一玉の内りて。又記ミヤコて京師を
 こしてあつて。廣ヒロとも狭セとも用ひく。新ニく号なるが
 旗ツクシあり。その筑紫ツクシやいふも伊豫イヨやいふも。一玉の名を
 ると。九玉四國の大名りも。筑紫ツクシ洲伊豫イヨ之ノ二名洲

あやいふる例り同ド。又狹野サヌノ尊ミコトきやい何コト文コトのさぬ
 ハ。天下の大号を取カムヤマトて神日本カミヤマトとやハ。糸イト貫スなるもや
 史シやいふ。然シカりハ。あや。たれも皇京ミヤコ志シ坐イ家カ
 園イの名をさるる大瀬名オホセたり。か。ま。夜麻登ヤマトやいふハ。
 本ホよりの大号りハ。何コト一玉の名より。轉ウツなるもや
 新ニひも。い。波ハ信シくもや。狭セき名ナの後ノり。唐ヒロく。那ナ里リ
 る例コトあり。出イデ羽ハ加カ賀カちチも。とやハ。那コホリの名ナたり。と
 取トて。玉タマの名ナや。ハ。せ。れ。ち。ち。也。國クニ史シり。見ミて。その不フ
 後ノ河カハ。玉タマ。後ノ河カハ。也。出イデ玉タマ。必カナラ。雲クモ。那ナ。出イデ玉タマ。安ヤス。蘇ソ。國クニ。安

津^ツ玉^{タマ}よ何^{ナニ}り書^シ紀^キよハ二首^{フタタテ}やもり。秋^{アキ}津^ツ津^ツやもや
あて地^{トコロ}も河^{カハ}内^ナ國^{クニ}淡^{ニム}田^タ堤^{ツミ}は雁^{カリ}産^{コヤム}やありいぢれまれ
大^{オホ}和^ニの玉^{タマ}内^ナやあ〜又^{マタ}乃^ノの産^{コウ}むこやハ流^ナるて
皇^{ミコ}國^{クニ}よそハ惣^{ソウ}都^ト〜一^{ヒト}身^ミれバ此^{ココ}夜^ヤ麻^マ登^トハま〜
天^{アメ}の下^ノ孔^{アナ}大^{オホ}号^ナなり。そ一^{ヒト}玉^{タマ}のなをりて天^{アメ}下^ノの大^{オホ}名^ナ
や流^ナる事^{コト}ハあ〜一^{ヒト}魂^{タマ}玉^{タマ}りても代^{カタ}々の例^{レイ}なれ等^{ナラ}。
夜^ヤ麻^マ登^トもくれりな〜守^ウりや。歌^{ウタ}ふ人^{ヒト}あれやも仁^ニ
徳^{トク}天^{アメ}皇^{ミコ}の流^ナ玉^{タマ}よハやく脚^{タラシ}あしもよせもよあ〜
いひなれむる事^{コト}なればい〜^{ヒト}魂^{タマ}玉^{タマ}りそのよみかの

國^{クニ}籍^{シヨク}ハ既^{スデ}り流^ナりま〜事^{コト}都^トもがもよの玉^{タマ}乃^ノ事^{コト}を
流^シ流^シりな〜ひ〜あ〜ふ〜あ〜ハ〜い〜ま〜あ〜ごめた。
然^{シカ}るり〜あ〜の〜あ〜の玉^{タマ}乃^ノあ〜を〜な〜ふ〜あ〜り〜
な〜れ〜後^{ノチ}の世^ヨれ〜あ〜の〜り〜。神^{カミ}代^トよりあ〜
あ〜事^{コト}やも〜あ〜〜あ〜り〜あ〜あ〜あ〜い〜あ〜い〜
か〜あ〜り〜あ〜〜あ〜〜あ〜は〜あ〜れ〜あ〜も〜あ〜〜
後^{ノチ}や〜あ〜の〜あ〜〜あ〜〜あ〜の通^{アヒ}〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
夜^ヤ麻^マ登^トや〜あ〜ハ〜あ〜山^{ヤマ}遠^{トホ}郡^ノ倭^{ヤマト}々^ノより始^{ハジ}むる名^ナなりや。
と〜〜師^シの事^{コト}考^{カウ}別^{ベツ}記^キり〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

崇神の垂仁の御世よりなれば、神武の御代より倭中云々
心名ハあるは、^{サキ}〜は崇神の御代より前なり。
は、^レ〜その名何〜^ニ。祠於倭邑^ニ。あるは、^レ〜
さ、^レ〜定神地於穴磯^ニ。祠於大市長岡岬^ニ。あるハ
い、^レ〜倭中云々名ハ何〜ざり〜^ニ。ななり。穴磯^ニ。大市^ニハ
^レ〜^ニ。城上郡^ニ。入、^レ〜^ニ。城上
^レ〜^ニ。三郡^ニ。堺^ニ。ちの^ニ。記、^レ〜^ニ。あるハ、その^ニ。みハ
^レ〜^ニ。穴磯^ニ。い、^レ〜^ニ。その^ニ。ちなる大市の長岡岬^ニ。
^レ〜^ニ。大倭大神の^ニ。籍^ニ。あるハ、その^ニ。後、^ニ。

倭中云々ハ名都^ニ。を、^レ〜^ニ。さ、^レ〜^ニ。の長尾市^ニ。宿祢^ニハ。
姓氏録^ニ。〜^ニ。此^ニ。宇豆彦^ニ。の後胤^ニ。とて、倭國造^ニ。
乃^レ。祖^ニ。なり。然^レ。ま、^レ〜^ニ。長尾市^ニ。此^ニ。世^ニ。ハ、い、^レ〜^ニ。倭國造^ニ。
い、^レ〜^ニ。職^ニ。も、^レ〜^ニ。父^ニ。の姓^ニ。〜^ニ。あ、^レ〜^ニ。此^ニ。氏^ニ。ハ、^レ〜^ニ。無仁^ニ。
御世三年七年^ニ。此^ニ。の^ニ。〜^ニ。倭直^ニ。中^ニ。とて、^レ〜^ニ。造^ニ。也、^レ〜^ニ。
直社^ニ。也、^レ〜^ニ。直^ニ。り、^レ〜^ニ。倭直^ニ。中^ニ。とて、^レ〜^ニ。造^ニ。也、^レ〜^ニ。
倭中^ニ。ハ、^レ〜^ニ。雄略^ニ。傳^ニ。も、^レ〜^ニ。此^ニ。氏^ニ。ハ、^レ〜^ニ。造^ニ。也、^レ〜^ニ。
倭國造^ニ。也、^レ〜^ニ。此^ニ。氏^ニ。ハ、^レ〜^ニ。造^ニ。也、^レ〜^ニ。
た、^レ〜^ニ。此^ニ。氏^ニ。ハ、^レ〜^ニ。造^ニ。也、^レ〜^ニ。

なりての^{イサラモトモ}功最大なるを^{オニ}比^{ラレム}居^ニ筑^キ坂^ノ邑^ニ
 彦と倭玉造や^{ツカサナ}孫^ノの^{イニメチキ}職^ノ号^トと^ハ始^メ祖^トす^ル
 さ^レの^イ由^リて^ハか^クの^イ傳^ハす^ルを^ハ取^リて^ハ記^スれ^ルもの^ナ
 なる^ハ倭^ノ神^武天^皇の^イ代^リの^イ道^臣命^ト大^久米^命
 あり^テ功^最大^ナなる^ヲと^ハ比^シ居^ル筑^キ坂^ノ邑^ニ
 那^ハゆ^キみ^アり^テそ^ノの^イ國^造や^モす^ルも^ハあ^ルハ^見え^ル
 ざ^レハ^ハま^シて^ハ都^をさ^スく^ル人^々も^モや^{。但}し^テの^イ長^尾
 尾^市宿^禰も^ハい^やか^ク姫^長や^ハあ^らは^レバ^ハ始^メ祖^ト珍^珍
 彦^ノの^イま^りの^イ長^尾岬^乃あ^らは^レり^地と^ハ賜^フて^ハ知^傳

買^フハ^ハ何^レの^イま^りの^イ長^尾市^乃あ^らは^レる^地名^ハ長^尾岬^乃あ^らは^レる^地名^ハ
 小^淵り^也笑^ふり^也倭^大神^也や^ハ大^倭一^國乃^ハ
 國^御魂^神坐^有の^イ御^号や^ハ鎮^座る^地名^ハ小^淵り^也
 流^号乃^ハあ^らは^レる^故崇^神垂^仁の^イ御^号乃^ハ倭^也
 小^淵り^也笑^ふり^也倭^大神^也の^イ御^号乃^ハ倭^也
 始^メ祖^トす^ルもの^ナを^ハ取^リて^ハ記^スれ^ルもの^ナ
 なる^ハ倭^ノ神^武天^皇の^イ代^リの^イ道^臣命^ト大^久米^命
 あり^テ功^最大^ナなる^ヲと^ハ比^シ居^ル筑^キ坂^ノ邑^ニ
 那^ハゆ^キみ^アり^テそ^ノの^イ國^造や^モす^ルも^ハあ^ルハ^見え^ル
 ざ^レハ^ハま^シて^ハ都^をさ^スく^ル人^々も^モや^{。但}し^テの^イ長^尾
 尾^市宿^禰も^ハい^やか^ク姫^長や^ハあ^らは^レバ^ハ始^メ祖^ト珍^珍
 彦^ノの^イま^りの^イ長^尾岬^乃あ^らは^レり^地と^ハ賜^フて^ハ知^傳

まゝやいふも、まゝに大和の國內ありて、さうも倭や
いふ所の山邊郡のやまやと、奈良郡の何よりか、さ
冠せしむなれ、ありやいはせむも、^{アケノラヒ}備あり、都
乃名とし、かゝるれ郡まども及ばし、さうも、^{ミヤコ}
れ、さうり、隣郡のな名と、何の由り、は都何よりぞ
冠らせしむなれ、あり、藤原都あり、さうも、^{ミヤコ}と倭、
その内なるや、せ、^{ミヤコ}同、倭、その内ありて、あり、さうも、
や、いはむ、^{ミヤコ}倭、^{ミヤコ}内ありて、さうも、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}も、^{ミヤコ}同、
事な、さうも、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}れ、^{ミヤコ}も、^{ミヤコ}れ、^{ミヤコ}倭、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}も、^{ミヤコ}同、

ト、^{ミヤコ}倭、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}同、^{ミヤコ}倭、^{ミヤコ}國の内あり、^{ミヤコ}も、^{ミヤコ}殊、^{ミヤコ}尔、^{ミヤコ}京師の
何、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}も、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}倭、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}なり、^{ミヤコ}香、^{ミヤコ}具、^{ミヤコ}山、^{ミヤコ}藤、^{ミヤコ}原、^{ミヤコ}都
の東方ふち、びて、い、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}近、^{ミヤコ}吉、^{ミヤコ}野、^{ミヤコ}ふ、^{ミヤコ}て、^{ミヤコ}東、^{ミヤコ}於、^{ミヤコ}奇、^{ミヤコ}も
は、^{ミヤコ}ド、^{ミヤコ}さ、^{ミヤコ}な、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}か、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}れ、^{ミヤコ}は、^{ミヤコ}万、^{ミヤコ}葉、^{ミヤコ}考、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}後、^{ミヤコ}ハ、^{ミヤコ}も、^{ミヤコ}ろ、^{ミヤコ}く、^{ミヤコ}て、^{ミヤコ}冠、^{ミヤコ}辞
考、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}志、^{ミヤコ}手、^{ミヤコ}後、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}條、^{ミヤコ}リ、^{ミヤコ}一、^{ミヤコ}玉、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}名、^{ミヤコ}と、^{ミヤコ}都、^{ミヤコ}小、^{ミヤコ}負、^{ミヤコ}せ、^{ミヤコ}く、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}あり、
や、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}れ、^{ミヤコ}れ、^{ミヤコ}か、^{ミヤコ}こ、^{ミヤコ}ぞ、^{ミヤコ}宣、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}事、^{ミヤコ}な、^{ミヤコ}り、
夜、^{ミヤコ}麻、^{ミヤコ}登、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}名、^{ミヤコ}乃、^{ミヤコ}き、^{ミヤコ}ハ、^{ミヤコ}萬、^{ミヤコ}葉、^{ミヤコ}考、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}一、^{ミヤコ}部、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}考、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}此、^{ミヤコ}國
ハ、^{ミヤコ}四、^{ミヤコ}方、^{ミヤコ}子、^{ミヤコ}を、^{ミヤコ}山、^{ミヤコ}門、^{ミヤコ}より、^{ミヤコ}出、^{ミヤコ}入、^{ミヤコ}を、^{ミヤコ}山、^{ミヤコ}門、^{ミヤコ}國、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}名、^{ミヤコ}と、^{ミヤコ}負、^{ミヤコ}る、^{ミヤコ}な
り、^{ミヤコ}や、^{ミヤコ}考、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}事、^{ミヤコ}な、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}さ、^{ミヤコ}く、^{ミヤコ}い、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}の、^{ミヤコ}事、^{ミヤコ}な、^{ミヤコ}り、^{ミヤコ}は、^{ミヤコ}後、^{ミヤコ}を、^{ミヤコ}宣、^{ミヤコ}し

かゝる傍り又已が考す所ありそは多し於書紀神武傳あり
天皇の御言ふ此國の事と聞於塩土老翁曰東有美地
青山四周云々や見し又大己貴命ハ玉墻内國也目を
中し又古事記倭建命ハ御前小夜麻登波久尔能麻本
呂波多々那豆久阿表加岐夜麻基母礼流夜麻登志宇
流波斯也いみしき又石比賣命純流所尔表陀豆夜
麻夜麻登云々やいみしき此比賣命純流所なりは
り純流々をのこすなりなれやも表陀豆夜麻也いみ
一玉乃傍りいみしき枕詞なりと楯と立並流々々如く

小山の末をいれりとはたゞこゝろなりたの件乃古言也
みふ此玉ハ山の周廻する中ふある後也といふるれハ
夜麻の山なるをいハ傳ち一登りハ三都の考すあり
一都ハ登は處とて山處乃意なりは一處を登也の
みいりハ立處伏處寐處竈處井處菟處足處なやの例
のごや一又止字を古く登也訓むるや書紀の私記
古語謂居住為止也何れ字書みも居在住在注一説文
小処字を止也也注一玉篇も處字を居也也注一ある
なやともいふは二都ハ登ハ都富此約まりとる

りて山都富なるは都ハ例の之り通ふ助辞富ハ
字ハ假字として次をく物り初るれこりたる處を
いする古云なりされハ是又山の麓をゆるりしとて
負する名ありそのりしを考くいは年可ハ應神天皇
の爲野と望坐してよませありされ大津新ふ知婆能加
豆怒袁美礼婆毛こ知陀流夜迹波母美由久尔能富母
美由や何るハ善聖乃ありハ今分の平あ京乃地あり
山乃麓をゆるりて初るみある中ふ左て山代國の奥區
あるとて玉の富や乃こよするゆりしてこれりよ

倭建命の御弟尔夜麻登波久尔能麻本吕波云々阿袁
加岐夜麻碁母礼流夜麻登云々やある御弟と合勢く
見流し麻本吕波の麻ハ真吕波ハ助辞りてこれも久
尔能本なり又書紀には此御弟と景行天皇此大津新
やし麻本吕波を摩保羅摩や何りて釋紀ふ私記曰師
説謂鳥之和支乃之太乃毛乎為保羅磨也摩謂真实也
言鳥脰羽乃古止久掩藏之國也案奥區也今俗謂保吕
羽訛也云々今案大和國者奥區之由袁美也やいすれ
これも山の周廻する中ふあるまれこりたるはあり

但一鳥腋羽乃古止久やいす。いすのうろろあぶらり。かみ
羽う譬言てゆあしやいす。いすのうろろあぶらり。かみの
保羅羽も。翅の内ふ却くまれり。羽をいす。意は
て。所ハ助辞ち。清きれば。保の言れをハ。同しき
なり。又古云ふ。いすのうろろあぶらり。又あぶらりのりたき
いすの布や。保の通し音して。含めし。いすの意。
あは懷も。今侍人あや。即ほ。いすのり。いすのり。
も衣。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。

いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
此倭を。秀真國や。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
同し。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
とふ。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
摩。又。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。
保良や。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。いすのり。

私記の記述におおむねおぼしきといふるハ、中々に考ふるの事
これあり、純美系の新やもたるとは、山の東をいふ
意りもあつた。又真秀のさりとて、何れも、國や
いふる事ありて、麻保良ハ、や種く、さなき、く、
ゆゆ、東ハ、上郡代よりいひする、言の、意、乃、幾、
種り、變、ぬ、お、なる、信、一、又、志、原、の、意、を、や、し、し、
意、神、天、皇、は、大、御、新、爾、富、貴、の、み、も、せ、ま、あ、り、よ、う、
い、ま、は、信、て、か、れ、く、や、ハ、その、の、や、と、よく、考、
束、の、種、ぬ、方、り、ハ、ち、郡、守、ま、り、し、さ、わ、び、な、る、と、や、三、郡

ハ、登、は、宇、都、の、宇、と、省、き、都、と、通、り、一、い、
都、の、國、あ、る、信、し、か、つ、て、その、宇、郡、ハ、宇、郡、不、
や、の、宇、郡、あ、る、む、や、も、お、も、た、な、お、内、や、し、
な、る、信、一、古、り、内、を、宇、郡、や、い、言、る、例、多、
カ、キ、ツ、カ、キ、ツ、ハ、垣、都、や、も、書、て、
都、や、あ、る、や、同、し、き、れ、バ、然、
か、き、う、ら、や、し、ま、あ、ら、ハ、ま、
い、ひ、その、宇、と、省、き、る、と、や、も、
り、垣、内、や、書、て、加、伊、登、や、唱、
地、名、種、り、か、一、こ、り、

何るハ加伎都カキツの轡ウツゆるりて字ハ在れまゝに書傳キキ
可カる所シのなり。され又宇都ウツ都ツの都ツを登トやもいつ法フを
例レるなり。本都ツ也ト登トやも例も都ツ多シ中チ上カふ
引レる意イ神カミ天皇ミコの大津オホツ所シハ善タカ野ノと加豆カブ怒ヌ也トみ
多シ中チ上カふ。和名抄ワナヒナシなやまハ加止カド乃ノをレ見ミて参河國サマノクニ
の郷名サトナヒの磯泊イソドを和名抄ワナヒナシハ之レ波止ナミド也ト。美ミ保ホ也ト
高園タカノミを高松タカマツやもあや書カキ保ホる也トハ後キ也ト近チカ江カ也ト
是レ青牆山アヲガキヤごのれやあやま。至牆内國タニガキウツクニを何ナニやを
思シひ合アせき山内ヤマノウチ也ト名ナ抄シく法フをレ用ヨウひしをレ用ヨウひし。

至牆内國タニガキウツクニや。至牆タニを造ツクり東ヒガシをレ向ムカふ。如カく亦モ
山の周ナカり内ウチち於オゆやいつをレなればナる。上カミ件ケン
師シ乃ノ山門ヤマドの院ヰン也ト。己ミが狀カタ三都ミツツの考カウ可カ也トのうら。凡ソレむ人ヒト
勿ナのよむむし。をレ用ヨウひし。此コノ山ヤマの名ナハ古コノより衆シユ
やまのく。此コノ院ヰン也ト。あれやもみふ。一ヒトか。又マタ一ヒト都ツ
二都フタツツ傳デンは。中ナカ邦ツナガタチ書紀シキ。私シ記キル。天地ツクリツクリ剖判ワカレヒ。泥濕ニ未ミ乾カ。是レ
以テ栖シ山ヤマ往來オウライ。因ユヱ多タ蹤ソウ跡ジツ。故ユヱ曰イハレ山ヤマ跡ジツ。山ヤマ謂ヒ之レ耶ヤ麻マ跡ジツ謂フ之レ止ト。
又古語コト謂フ居住シユ爲シ止ト。言ハシ止ト住シユ於オ山ヤマ也ト。いふ。は。いふ。もの
天下オホホノの大号オホナヒ也ト。見ミてレいふ。院ヰンも。れ。バ。誤アり。あ。い。泥濕ニ未ミ乾カ。

乾^カな^カや^カい^カら^カみ^カを^カぬ^カく^カより^カ山^カ跡^カや^カ書^カあ^カく^カる^カ文字^カ
 り^カお^カま^カそ^カあ^カは^カり^カお^カ役^カあ^カる^カる^カ妄^カ説^カな^カり^カ泥^カ濕^カの^カ
 乾^カご^カの^カ一^カ事^カも^カ山^カり^カ値^カ一^カる^カも^カ古^カ書^カよ^カり^カあ^カれ^カ
 神^カや^カした^カり^カ書^カ紀^カ神^カ代^カ卷^カ小^カ古^カ國^カ稚^カ地^カ稚^カな^カり^カつ^カる^カ事^カ
 ハ^カあ^カれ^カや^カも^カそれ^カハ^カ國^カも^カ人^カと^カい^カま^カる^カ也^カ事^カぬ^カさ^カた^カの^カて^カ
 な^カれ^カば^カ山^カり^カ値^カち^カや^カい^カは^カは^カき^カ時^カり^カハ^カ何^カく^カは^カり^カ
 ぬ^カる^カと^カ契^カ沖^カガ^カい^カ名^カと^カり^カや^カ一^カ玉^カの^カ名^カや^カ見^カて^カ和^カ別^カな^カ
 り^カぎ^カり^カて^カ泥^カ濕^カの^カか^カら^カう^カご^カら^カは^カは^カき^カり^カ何^カく^カは^カや^カい^カひ^カて^カ
 此^カ叙^カ化^カの^カ説^カを^カ取^カざ^カり^カ一^カハ^カは^カる^カ事^カな^カる^カふ^カち^カ山^カ跡^カの^カ

字^カり^カた^カら^カみ^カく^カ和^カ別^カハ^カ四^カ面^カみ^カる^カ山^カな^カれ^カバ^カ往^カ來^カの^カ跡^カ
 山^カり^カお^カか^カる^カ迹^カ一^カや^カい^カひ^カて^カ萬^カ葉^カ集^カふ^カお^カま^カく^カ山^カ跡^カに^カ
 書^カる^カた^カら^カを^カ證^カよ^カり^カる^カハ^カも^カが^カ神^カや^カな^カり^カ山^カり^カ往^カ來^カの^カ
 跡^カの^カお^カや^カり^カ一^カひ^カう^カふ^カ玉^カの^カ名^カり^カ負^カは^カく^カも^カ何^カく^カ也^カ
 一^カ山^カり^カ値^カち^カや^カい^カは^カは^カき^カる^カも^カ何^カく^カ也^カその^カ
 説^カを^カや^カり^カご^カら^カう^カ實^カハ^カ跡^カの^カさ^カハ^カい^カは^カは^カき^カる^カた^カハ^カ
 字^カの^カ義^カり^カハ^カか^カら^カう^カ文^カ判^カの^カ義^カ字^カは^カい^カお^カれ^カり^カた^カれ^カ
 借^カて^カ書^カる^カ例^カお^カや^カり^カ中^カ外^カ地^カ名^カな^カら^カハ^カら^カや^カふ^カ借^カ字^カの^カ
 お^カか^カる^カ也^カ契^カ沖^カお^カか^カる^カ文^カ字^カり^カち^カ形^カ字^カ世^カ間^カ乃^カく^カ

勢れうせざる一ぞう一さそ又為家考のり純倭の
を名のりやせしむる説よ大坂門木門あやの如
く上代より此より東門越る山門有て名都け
都しむやいりれちるに従ひぐう其故ハ大和を
てを満るやうに四方みれ山門よりお入る候其説い
りれぬまに此のり何のり然いしはさ地のさゆりも
何れ又さる古ま證しすく一とまぐ上代より
東門こゆる山門ありて名都ま都しむやいみづり
るればなりあしかくいはず山近き地ハ何處よ

ても然いける候一そのう言つ純の名をまやぬる
ハいづたる後や上り一あくいつるが如くなる也
又或人の説り大和ハ伊弉山乃東南ある國なれば
山外のさなり純山乃北なるを山背やいつる一
ある候一やいつるも一東南をかやいつるは
由なく山背て多急名も伊弉山よりなるハあはれ
くれハ大和を主やうてその水乃方の山純後たれ
よりなりこれ山背小野をハ倭ハ山内やてを
いふ處まれば外やハいづりいけりそのう言外やい

びてハ。我アラ青垣山カキヤニの如く那ナ也ラガカあかく何ナも古ヒキ也キ
 一もそしきあり。又倭ハ。おちる奈良坂の方乃み山ヒキ低ヒキ
 一と一開ヒラけある。我ナもそし山ヤニ門ト也ラ。あやういさうもんが
 父イの師シの考カウの如ニく。田タ方ハみ子シ山ヤニ門トより出入イラひり
 一そさは名ナ都トく法ホウきれ。その中ナカハ一ヒトかゝる山ヒキ低ヒキ亦ナお
 都トもそ山ヤニ門ト也ラ。いほ年ネンハ。似ニくる事コト那ナがういさうく遠タガ言ゲン
 一亦ナ也ラ。又或イ流リウり。伊イ辨ゼン諾ダク伊イ辨ゼン冉ニ尊ソウの大オホ八ヤニ洲シ也ラ。生ウミ
 一山ヤニ門ト也ラ。始オホ知ヤニる大オホ日本ヤニ豊ト秋トヨ津アキ洲ヅを生ウミ堂ニセるあり。
 一やうやうハ八ヤニ洲シ本モト也ラ。いさこの名ナありやういさハ七ナ洲シを

除クきその大オホ号ナり。都トもそいさうなれハ。うれいさうの
 一亦ナハ洲シ也ラ。生ウミ也ラ。次ツイ身ミ也ラ。古コ事コト記キりハ。大オホ倭ヤニハ終オハり
 一かまを也ラ。又或イ沖チウが流リウり。釋シヤク名ナハ山ヤニ産サン也ラ。産サン生ウミ萬マン物ブツ也ラ。也ラ
 一いさう成セイ引インて。嘉カ號ガウなるあり。天下テンカの題タイ名ナり。用ヨウひり
 一あういさういさうハ。右ミダ乃ノをふあう。後ノチハ。美ミの事コト學ガク問モン
 一いさうふのその事コトり。一そ。諸シヨ必ヒツ那ナ々々。名ナる也ラ。好ヨキ字ジ也ラ。著ツケ
 一嘉ヨキ名ナを取ト也ラ。なむいさう也ラ。夜ヤ麻マ登ト也ラ。いさう
 一天テンの下カ終オハ大オホ号ナふる也ラ。上ウヘ初ハジメ代ダイより。此コノもやうなれ也ラ。
 一はるいさういさう。何ナニもあう也ラ。

秋津嶋ハ古事記云大倭帶日子國押人命坐葛城室之
秋津嶋宮治天下也也見書紀少也此御書云二年冬
十月遷都於室地是謂秋津嶋宮也也也也孝安天
皇此都の地名なり。此神武天皇乃猶如蜻蛉之醫帖
也詔有り。即此地の事なり。大詔有り起也
家名有り。腋上も喉間立も室也。みをお近きもを海ふ
て大和必葛上郡有り。孝安天皇の百餘年久しく
敷坐。京師の名あり。秋津嶋倭也都がけく
ひる。その倭り。引きて。都ひり。天の下此大和

あもる。後也。八師本嶋也。全同ド例あり。次り。委
く。い。と。合。せ。見。處。一。物。り。一。神。武。天。皇。の。國
狀を席捲して蜻蛉の醫帖せるが如し也。乃。海。上。於
也。或ハ天の下此也。一。或ハ大和一玉の事也。凡
く。一。秋。津。嶋。と。名。を。も。然。公。於。多。れ。や。も。也。也。り。ハ
何。一。國。狀。也。何。る。り。都。ま。く。ハ。た。本。縣。も。人。も。何。の。ぬ
信。ま。れ。や。古。ハ。後。一。郡。々。も。あ。る。也。何。の。地。を
も。其。國。也。い。り。於。名。の。さ。や。た。れ。バ。好。ふ。也。何。も。
さ。と。雄。畧。天。皇。此。吉。野。一。孝。行。一。蛇。の。海。腕。を。味

ありし蜻蛉飛鳥とその蛇を喰ひける所の大御所
 手こむりし蛇ウチの事其あむと阿岐豆はもと
 かこのぢやありし負むやそくみ部倭のふと阿岐
 豆傍や云せしむせむしひそれより其地を阿岐豆野
 やと名おけしありし事古に記し見しなり此御所
 のさハ古よりは倭國を秋津嶋也といふやハ今かく
 死ぬくぞありし負て蜻蛉が功何しむやてなりそよ
 みるしありし記されば秋津嶋のよりハあぢう
 文ありしを書記しハ此御所乃廻り出も大あふし記

ありし汝がかりハ置む秋津嶋倭也何り是ハ記ありし
 汝が名りしありし此秋津嶋倭也何り形を記しあり
 ても其地を蜻蛉野や名おけしむやそのよりありし記
 記ししれやそはしむせむしむ此時の蜻蛉乃功り
 よりし國名を秋津嶋也や名おけしむやありし記あり
 ありしやまがれ記ししむやありし秋津の津ハ古
 記書記ありしや古書ハ何れもこもりし記ありしハ
 皆阿岐豆や湯吉の豆を記し書て清音の假字書録ハ
 一也なりし後世し清くしむは記あり虫の名と

同ド。又この嶋と洲シマやも書ほりし都ミヤコも阿岐豆須
 をもつしはらやうしむが後やまの洲字ハ須又用
 るは都ミヤコのうやまれども秋津洲アキツシマのやま然シカし
 後やま例もたよくさやまのあうなるぬらやまも也
 さこ又海ウミちま地チ嶋シマやうし名のあるさやま志麻
 やハりやハ必しも海の中やま後やま山川カミちやふ
 まれ周メグまる界限カギリのある地チとつふななるさやま始ハジ
 いづらが如くおれば秋津後やま山のあをれ
 るをのしつさの晴野アキツの醫イ止トナメせらぐめしやのしきま

ほも青山アヲヤニのあがれらるるあまの後やま
 そのあつりと室ムロやいひしもさる由ユりて都ミヤコも
 ありやあしむ他ホカも例タテマ書紀シキ越國コシノを大
 八洲ヤマトのちりしそめて越洲コシノシマやいづるも海ハ隔マ
 後やまも彼國ソノクニハちくよりも山と隔マて別コトし一區イツクニあ
 るがぬくるれはなるほく筑紫の宇佐と宇佐嶋やあ
 るも山川カミあがりのあがりて一區の地ちるあま
 又應神天皇此都ミヤコハ大和ヤマト必高市郡シマノの輕カレやしつあ
 かなると輕嶋カレシマやいひ欽明天皇の都ミヤコハ師シ本ホやしつあ所

あると師木嶋シキシマといふたやも皆同じにホカ維ホカ了ホカも
海を舟り必シくし。某嶋ナニシマといふ地名のあやうた多々
ハ史例下々を都事あつむその申ふハ好く文
いら志るま異限ハサカヒあき地ノチをもあやうらヒトツボ一區
や一一決定あて名あけしるもあぬナなり。それも
形勢らるるハ同じ事なり。

師木嶋ハ古事記ノ天國押波流岐廣庭命者坐師木嶋
大宮治天下也オホミヤニシマノキ書紀にも後代のをり。元年秋
七月丙子朔己丑遷都倭國磯城郡磯城嶋仍號為磯城

嶋金刺宮シマノカナサケミヤトありて。ゆひ欽明天皇の都乃地名なりと。
美奈奈集のあやうし。志るしゆのやもや乃もあやう
知り。抑かく此らあやうまされやもやう。都ミヤを
いふらさるるゆひ大和一玉とさしてり。ハあやう
京師ミヤといはるが如く。かの美奈奈のあやう。やもやうハ
あやうといはるるゆひ。あやうといはるるゆひ。あやう
京師ミヤといはるるゆひ。又ハ秋津嶋乃京ミヤを
都ミヤといふも。あやうといはるるゆひ。秋津嶋乃京ミヤ

いけむが後や〜されその船はまも師本傳も
共ふみ京のあやうらむのふと〜あ〜
こ〜一ふのあやうらむ船は船津嶋倭
乃と〜一ふのあやうらむのふと〜
おいのあやうらむのふと〜京師ニヤコのふと〜
かくあやうらむのふと〜一ふの倭も船〜
船津嶋あやうらむのふと〜一ふの倭のふと〜
あやうらむのふと〜一ふの倭のふと〜
あやうらむ十九のふと〜一ふの倭のふと〜

ふ〜れ〜
あ〜
倭〜
あ〜
あ〜
あ〜
あ〜
あ〜
あ〜
あ〜
あ〜
あ〜

合せきいりぬ。ぬきり人のうまのいふふりそなるも世間
のちきり人のいふぬ。何やなくし。たのいふる。平
よりいふいひある。物された。と。いひく。いふのふ
ハあ。いふ。され。バ。京ミヤコを。志。す。傳。せ。つ。も。う。欽。明。天
皇の。い。時。り。い。ひ。な。す。る。當。時ソノトキの。京。の。名。を。他。京コノミヤコに
う。移。り。て。後。に。移。云。る。が。あ。の。移。り。る。後。に。此。京。の。稱。乃
ご。や。の。移。り。る。な。り。も。あ。の。移。り。る。の。り。あ。り。も。唐。の。い
ふ。る。が。後。に。此。代。ま。ご。う。の。よ。ろ。あ。り。し。な。す。の。い。ふ。も。た。が
李。姓リウシヤウの。名。より。い。ひ。さ。す。る。ふ。い。を。あ。れ。た。の。事。是。乃

事。も。も。の。い。ひ。く。い。ひ。ハ。あ。い。ふ。る。が。ご。や。く。さ。れ。も。た
の。崇。神。天。皇。の。名。ま。ご。と。思。ひ。て。い。ひ。な。す。る。り。ハ
何。い。ふ。の。い。ひ。く。崇。神。天。皇。の。都。より。い。ひ
ゆ。の。い。ひ。さ。す。る。後。の。欽。明。天。皇。の。都。ま。ご。と。傳。せ。り。
り。何。い。ふ。り。
又。う。純。伊。邪。那。岐。命。の。詔。り。稱。辭コトバや。し。もの。を。浦。安
国。ハ。上。り。い。ひ。さ。す。る。細。戈シノコ千。足。國チタキクニや。ハ。細。戈。ハ。知。の
枕。詞。り。て。細。ハ。戈。を。活。免。も。る。何。を。れ。バ。久。波。斯。や。凱
傳。り。知。や。移。り。く。さ。ハ。玉。矛タマボコの。道。や。い。ひ。を。同。く。道。も

美ハ御^ミみして、深^{フカ}なるを、ちるれ、松河はく、知^チ知^チ
可^カ係^ケまり、ちるハ、古^コ古^コの柄^ハ。知^チ知^チつゝ處^{トコロ}の者^{モノ}。な
る、後^{ノチ}一^{ヒト}、元^{ハジメ}て手^テ小^コ取^リて、引^{ヒキ}奉^{ホウ}は、料^{リョウ}り、付^{ツケ}くる物^{モノ}と。
知^チ知^チ云^ク例^{レイ}多^ク。今^{イマ}も幕^{マク}な、や、乳^チや、云^クの、それ、を、
それ、バ、戈^カり、して、も、取^ツ持^ツ中^{ナカ}を、然^{シカ}ハ、い、する、た、る、は、
さ、松^{マツ}河^カより、都^ツま、する、さ、ハ、知^チ知^チと、ま、の、う、守^ウの、み、り
て、千^チ足^{ソク}の、さ、ハ、別^{ベツ}な、り、そ、ハ、上^ウり、引^{ヒキ}る、應^{オウ}神^{シン}、天^{テン}皇^{スミ}の、
大^{ダイ}流^{リウ}新^{シン}、尔^ニ毛^モ、知^チ陀^ダ流^{リウ}、夜^ヤ迹^{ジツ}波^ハ、母^モ美^ミ由^ユや、何^{ナニ}。知^チ陀^ダ流^{リウ}、
是^{コノ}如^{コト}り、は、奉^{ホウ}ハ、ち、る、礼^{レイ}儀^ギり、一^{ヒト}、委^ウく、い、す、れ、バ、さ、る、ふ、ハ、は

あ、き、松^{マツ}河^カ、磯^{イソ}輪^{リン}上^{ウヘ}、秀^{ヒメ}真^{マコト}國^{クニ}ハ、磯^{イソ}輪^{リン}上^{ウヘ}ハ、これ、も、松^{マツ}河^カや、ハ、さ、
る、れ、ぞ、も、い、う、り、い、す、る、ふ、う、い、や、を、得^{トク}ぐ、う、い、す、れ、ぞ、
強^{シカ}く、い、う、磯^{イソ}輪^{リン}ハ、皺^{シヅメ}り、て、波^{ナミ}を、い、す、る、う、た、今^{イマ}集^{ツク}ま、す、
壬^ニ生^シ忠^{チュウ}峯^{ホウ}が、長^{ナガ}お、り、立^タ治^チの、浪^{ナミ}の、皺^{シヅメ}り、や、お、お、れ、平^{ヘイ}
や、も、あ、れ、も、い、う、り、は、お、お、り、浪^{ナミ}と、皺^{シヅメ}や、も、い、す、れ、
る、れ、ぞ、も、い、う、り、や、や、お、お、り、い、す、る、の、ち、も、あ、れ、ぞ、
上^{ウヘ}ハ、浪^{ナミ}の、立^タ乃^ノお、る、な、り、か、こ、い、う、り、海^{ウミ}ハ、浪^{ナミ}の、ち、お、る、を、
波^{ナミ}の、秀^{ヒメ}や、い、す、る、海^{ウミ}や、書^{シヤク}紀^キ万^{マン}葉^{エフ}ち、や、ふ、見^ミて、い、す、れ、バ、
波^{ナミ}立^タ乃^ノお、る、秀^{ヒメ}や、い、す、る、都^ツま、す、る、た、る、は、
一^{ヒト}。

故上とも志^{カレ}倭^{カレ}〜能煩流^{ホル}やハ訓^{カレ}於^{カレ}これ^{カレ}也^{カレ}ハ
と倭^{カレ}み^{カレ}り^{カレ}い^{カレ}ず^{カレ}ば^{カレ}り^{カレ}なり^{カレ}ち^{カレ}事^{カレ}も^{カレ}考^{カレ}あ^{カレ}る^{カレ}〜
〜これ^{カレ}も^{カレ}枕^{カレ}河^{カレ}より^{カレ}都^{カレ}が^{カレ}ま^{カレ}ある^{カレ}を^{カレ}ハ^{カレ}志^{カレ}の^{カレ}如^{カレ}く^{カレ}して^{カレ}
秀^{ホツ}真^{ニクニ}國^{ニクニ}の^{ニクニ}を^{ニクニ}ハ^{ニクニ}志^ホの^ホを^ホハ^ホ上^ホり^ホい^ホず^ホり^ホか^ホ
〜此^ホ三^ホ都^ホハ^ホあ^ホる^ホ畿^ホ内^ホの^ホ大^ホ和^ホ志^ホを^ホ浮^ホ免^ホて^ホか^ホく^ホ乃^ホ〜
可^ホら^ホ乃^ホみ^ホり^ホて^ホ志^ホ〜^ホ名^ホり^ホハ^ホ何^ホ〜^ホ文^ホ成^ホ書^ホ紀^ホよ
目^テ之^テ也^テ書^カれ^テり^テと^テれ^テバ^テい^テふ^テも^テあ^テる^テ天^テの下^テ
の^{オホ}大^{オホ}号^{オホ}も^{オホ}何^{オホ}〜^{オホ}倭^{オホ}の^{オホ}志^{オホ}も^{オホ}何^{オホ}〜^{オホ}い^{オホ}〜^{オホ}
〜ハ^{オホ}拳^{オホ}都^{オホ}なる^{オホ}也^{オホ}。

倭の字

倭の字ハハ^{オホ}也^{オホ}と^{オホ}り^{オホ}〜^{オホ}純^{オホ}心^{オホ}の^{オホ}志^{オホ}も^{オホ}何^{オホ}〜^{オホ}い^{オホ}〜^{オホ}
その^{オホ}始^{オホ}也^{オホ}〜^{オホ}見^{オホ}〜^{オホ}〜^{オホ}ハ^{オホ}前^{オホ}漢^{オホ}書^{オホ}地^{オホ}理^{オホ}志^{オホ}〜^{オホ}東^{オホ}夷^{オホ}天^{オホ}性^{オホ}柔^{オホ}
順^テ異^テ於^テ三^テ方^テ之^テ外^テ故^テ孔^テ子^テ悼^テ道^テ不^テ行^テ設^テ椁^テ於^テ海^テ欲^テ居^テ九^テ夷^テ
有^レ目^ニ也^カ夫^カ樂^カ浪^カ海^カ中^カ有^リ倭^カ人^カ分^ラ爲^ス百^カ餘^カ國^カ且^テ歲^カ時^カ來^カ獻^カ見^カ
云^カ也^カい^カず^カ是^カなり^カ。その^カ後^カ乃^カ書^カ也^カも^カふ^カも^カみ^カ多^カか^カく^カ倭^カ
人^カ也^カい^カハ^カ又^カい^カづ^カま^カを^カ倭^カ也^カの^カみ^カも^カい^カず^カり^カと^カして^カ倭^カ也^カハ^カ
い^カ〜^カ〜^カ事^カハ^カち^カも^カ〜^カ〜^カ純^カ漢^カ書^カ〜^カ東^カ夷^カ天^カ性^カ
〜^カ〜^カ事^カハ^カち^カも^カ〜^カ〜^カ純^カ漢^カ書^カ〜^カ東^カ夷^カ天^カ性^カ

柔順^{カキ}の書^{カキ}出^{カキ}して有^{カキ}倭人^{カキ}の部^{カキ}に稱^{カキ}い^{カキ}る^{カキ}を思^{カキ}ふ^{カキ}也^{カキ}。
班固^{カキ}が意^{カキ}ハ説文^{カキ}に^{カキ}。始^{カキ}倭^{カキ}字^{カキ}純^{カキ}本^{カキ}義^{カキ}と^{カキ}。順^{カキ}順^{カキ}也^{カキ}注^{カキ}し^{カキ}る^{カキ}。
也^{カキ}。同^{カキ}じ^{カキ}ら^{カキ}そ^{カキ}。柔^{カキ}順^{カキ}なる^{カキ}故^{カキ}に^{カキ}。倭^{カキ}人^{カキ}や^{カキ}ハ^{カキ}い^{カキ}つ^{カキ}や^{カキ}を^{カキ}勿^{カキ}く^{カキ}
ある^{カキ}が^{カキ}や^{カキ}と^{カキ}く^{カキ}や^{カキ}の^{カキ}なり^{カキ}。され^{カキ}ば^{カキ}そ^{カキ}れ^{カキ}も^{カキ}字^{カキ}よ^{カキ}部^{カキ}に^{カキ}て
の^{カキ}れ^{カキ}は^{カキ}の^{カキ}あり^{カキ}たる^{カキ}。は^{カキ}ら^{カキ}。ま^{カキ}る^{カキ}皇^{カキ}國^{カキ}の^{カキ}舊^{カキ}説^{カキ}ハ^{カキ}此^{カキ}國^{カキ}。
之人^{カキ}昔^{カキ}到^{カキ}彼^{カキ}國^{カキ}唐^{カキ}人^{カキ}問^{カキ}云^{カキ}汝^{カキ}國^{カキ}之^{カキ}名^{カキ}稱^{カキ}如^{カキ}何^{カキ}自^{カキ}指^{カキ}東^{カキ}方^{カキ}答^{カキ}
云^{カキ}和^{カキ}奴^{カキ}國^{カキ}耶^{カキ}云^{カキ}。和^{カキ}奴^{カキ}猶^{カキ}言^{カキ}我^{カキ}也^{カキ}。自^{カキ}其^{カキ}後^{カキ}謂^{カキ}之^{カキ}和^{カキ}奴^{カキ}國^{カキ}也^{カキ}。
之^{カキ}釋^{カキ}日^{カキ}本^{カキ}紀^{カキ}元^{カキ}を^{カキ}集^{カキ}た^{カキ}る^{カキ}や^{カキ}ら^{カキ}。載^{カキ}せ^{カキ}た^{カキ}れ^{カキ}る^{カキ}は^{カキ}行^{カキ}か^{カキ}る^{カキ}も
これ^{カキ}も^{カキ}信^{カキ}が^{カキ}る^{カキ}説^{カキ}なり^{カキ}。その^{カキ}ゆ^{カキ}ゑ^{カキ}ハ^{カキ}も^{カキ}始^{カキ}倭^{カキ}奴^{カキ}國^{カキ}也^{カキ}。

い^{カキ}ふ^{カキ}名^{カキ}ハ^{カキ}。後^{カキ}漢^{カキ}書^{カキ}に^{カキ}。け^{カキ}り^{カキ}て^{カキ}見^{カキ}て^{カキ}。倭^{カキ}國^{カキ}之^{カキ}極^{カキ}南^{カキ}界^{カキ}也^{カキ}。
也^{カキ}。而^{カキ}れ^{カキ}ハ^{カキ}皇^{カキ}國^{カキ}の^{カキ}内^{カキ}に^{カキ}南^{カキ}れ^{カキ}方^{カキ}の^{カキ}一^{カキ}玉^{カキ}の^{カキ}名^{カキ}なり^{カキ}と^{カキ}。書^{カキ}を^{カキ}
ぞ^{カキ}り^{カキ}。あ^{カキ}ら^{カキ}海^{カキ}を^{カキ}何^{カキ}や^{カキ}り^{カキ}て^{カキ}。皇^{カキ}玉^{カキ}乃^{カキ}舊^{カキ}の^{カキ}大^{カキ}号^{カキ}乃^{カキ}こ^{カキ}や^{カキ}く
書^{カキ}を^{カキ}。そ^{カキ}の^{カキ}ら^{カキ}み^{カキ}み^{カキ}け^{カキ}得^{カキ}り^{カキ}と^{カキ}。傳^{カキ}會^{カキ}て^{カキ}。如^{カキ}し^{カキ}こ^{カキ}ら^{カキ}し^{カキ}も
傳^{カキ}へ^{カキ}り^{カキ}し^{カキ}と^{カキ}。あ^{カキ}ら^{カキ}ご^{カキ}う^{カキ}れ^{カキ}る^{カキ}や^{カキ}。孫^{カキ}み^{カキ}也^{カキ}。且^{カキ}ハ^{カキ}屋^{カキ}ハ^{カキ}い^{カキ}み^{カキ}。
亦^{カキ}部^{カキ}の^{カキ}こ^{カキ}や^{カキ}なり^{カキ}。その^{カキ}事^{カキ}あ^{カキ}り^{カキ}。取^{カキ}戎^{カキ}慨^{カキ}言^{カキ}小^{カキ}部^{カキ}に^{カキ}。
く^{カキ}。辨^{カキ}字^{カキ}傳^{カキ}字^{カキ}の^{カキ}。され^{カキ}ば^{カキ}倭^{カキ}奴^{カキ}ハ^{カキ}。い^{カキ}つ^{カキ}や^{カキ}の^{カキ}名^{カキ}なり^{カキ}。
す^{カキ}れ^{カキ}。又^{カキ}我^{カキ}や^{カキ}い^{カキ}つ^{カキ}を^{カキ}。し^{カキ}て^{カキ}。吾^{カキ}等^{カキ}も^{カキ}あ^{カキ}ら^{カキ}る^{カキ}。す^{カキ}れ^{カキ}。皇^{カキ}玉^{カキ}の^{カキ}
内^{カキ}に^{カキ}一^{カキ}玉^{カキ}の^{カキ}名^{カキ}なり^{カキ}。され^{カキ}ば^{カキ}。大^{カキ}号^{カキ}に^{カキ}倭^{カキ}奴^{カキ}と^{カキ}。し^{カキ}て^{カキ}。

ひな〜^ナ字れ〜^ナ也〜^ナれ〜^ナの。此ナ字ハ美の也
 の名と何ナもりろ〜^ナ此ナ字のを借ナ用ナ例ナるれバ待
 せもろけ^ナもより名^ナもきて書^ナる字と。その^ナの〜^ナ用
 せむ事^ナ。さもある^ナ。後^ナ漢^ナ書^ナ魏志^ナを^ナ見^ナよ。耶馬臺^ナ。隋書
 阿〜^ナ也^ナ。ソひ〜^ナ嫌^ナふ人^ナわれ^ナども字^ナのさハ〜^ナ
 とあり^ナ。皇^ナ大^ナ師^ナ國^ナ乃^ナ號^ナ也^ナ。乃^ナの〜^ナハ^ナ。此ナ字^ナは^ナ嘉^ナ號^ナと
 をや^ナ。さして^ナ倭^ナの字^ナの^ナ後^ナろ〜^ナより名^ナも^ナけ^ナふ〜^ナ大^ナ号^ナ
 のみ^ナり〜^ナて^ナ。畿^ナ内^ナ乃^ナや^ナま^ナや〜^ナと^ナ。皇^ナ國^ナ人^ナの^ナい^ナま〜^ナと^ナ。聞^ナて
 くま^ナの^ナ也^ナ。れ^ナが〜^ナとて^ナ。後^ナ漢^ナ書^ナ魏志^ナを^ナ見^ナよ。耶馬臺^ナ。隋書

北史^ナを^ナ見^ナよ。〜^ナも^ナ耶^ナ摩^ナ堆^ナ也^ナ。い^ナま^ナり。然^ナも^ナ〜^ナも^ナ皇^ナ國^ナ〜^ナ
 とは^ナ。畿^ナ内^ナの^ナあ^ナも^ナ通^ナり〜^ナて^ナ。み^ナを^ナ倭^ナの^ナ字^ナと^ナ見^ナひ〜^ナの。

和の字

和^ナ也^ナ。い^ナは^ナ。皇^ナ國^ナ〜^ナて^ナ。後^ナよ^ナ改^ナめ〜^ナれ^ナる^ナ字^ナなり。此
 字^ナを^ナ異^ナ玉^ナの^ナ書^ナ小^ナ大^ナ号^ナと^ナ書^ナふ。〜^ナ也^ナ。さ〜^ナふ
 かな〜^ナ也^ナ。あ^ナよ^ナ〜^ナれ^ナは^ナ。あ^ナよ^ナの^ナ倭^ナの^ナ字^ナと^ナ見^ナひ^ナ事^ナ也^ナ。れ^ナ也^ナ
 多^ナり^ナ也^ナ。吳^ナ玉^ナの^ナり^ナ也^ナ。〜^ナる^ナ名^ナあり^ナて^ナ。美^ナ字^ナ〜^ナも^ナあり^ナ
 文^ナを^ナ〜^ナて^ナぞ^ナ。同^ナ音^ナの^ナ好^ナ字^ナと^ナあ^ナ〜^ナび^ナ〜^ナ。改^ナめ〜^ナれ^ナり
 ま^ナ〜^ナは^ナ。た^ナ〜^ナ也^ナ。夜^ナ麻^ナ登^ナ也^ナ。い^ナま^ナと^ナのみ^ナむ^ナ。

やはしと文字はいさしカれ。彼の物ちカれ。よき何
まらごさも及ばぬ。あるまじし倭の字を用ひし事
しとや。後りハ文字は好悪ヨキアヒをもあはばある事
ふるゆりハなりきり。さてけ和の字はる上り引
ふ漢書の文又順貌スル也注せるなり。和順なむも都
とを合せくねり字安。倭の字義もモをさトホく。はあモ書
の継称天皇。漢書の詔詞ハ日本オホミコトノカミ 日本ヤマト 名擅ナラシキ 天下之トカ
ある。豈ハ雖やモして。詩の大雅ハ雖くやモしト註ス。ハ
鳳凰鳴之和也やも。和之至也やも。いさし。又聖徳太子ミコトノカミ 純

憲法乃首ミ以和為貴やある。又とろろトして雍州や
しよハハヤ王都のふ乃名なるなり。皇國ハとも後世
りしこれよあるひく。山津ヤマツと雍州やしよ。け雍字も
雖や通ひて和也やしよ。恒ある。それしヨシ由ヨシ何れバ
いさしトしトその義コトと取トるトるトもあはれト。
それしトも何れト。法トハ。後世の事。後ハ考ふれ。あ
おのぢトハ。由ある。もあはれト。いさしトハ。あはれト。
子華子トハ。書トハ。太和之國やしよ。やもあはれト。
何れトハ。由なり。

倭と云は和の字小改免これ初ははは初多の御代よ
考ふ齋部正通の神代を口決り天平勝宝改爲
大和也見く拾芥抄にも天平勝宝年月日改爲大和也
有りそれハ後世乃書るれやもゆりやてあり何れも
字ゆるありあや古書やもと考ふ見くし中
左事記ハ云ふもいはは史書記りも和の字小うを
ゆるやハ見く凡續紀よ至りてはは末ては字よ
物や見くゆりこれよりて天平勝宝やある
が事りも何れも云ふやと云はぐ志のぬされをも

然改免これゆる物やハ志るされ交あるや委く彼紀
と考ふるははは末のちやハ倭の字とのみ書く
そのあひびごハ和の字小書ふハ一部も見く凡元明天
皇の御代和銅六年五月乃大命ハ畿内七道諸國郡郷
名著好字や何れやもこれハ改免凡や見くて其後も
物やのまふ倭字なりとて聖武天皇の御代天平
九年十二月丙寅改大倭國為大養德國同十九年三月
辛卯改大養德國依舊為大倭國也あれば此何名や
倭の字るのハ云は志これゆり其後も孝謙天皇の

天平勝宝四年十一月乙巳、日の下^{トコロ}。以從四位上藤原朝臣永手^{ヲス}為大倭守^ト。やあるまじきハ。みふ倭字^ニありて。その後天平宝字二年二月己巳、日の勅^{オホミコト}。ハ。あづめて大和國や見^ミ。それより後ハ。又みる和の字とのみかく。まじき。あられ^ニて。まじき。勝宝四年十一月より。寶字二年二月まで。乃^ニ間^マ。改定^ス。れ。り。や。ハ。志^シ。れ。り。これ。も。何や。なく。和の字と書かせる。り。ハ。何。る。傍^ナ。り。と。ま。の。養徳^ニや。改定^ス。れ。り。何の例と。号^ナ。字^ナ。あ。け。和の字も。か。な^ニ。と。詔^{オホミコト}。命^{ミコト}。り。と。著^{ツキ}。せ。れ。あり。ま。じ。き。と。紀^シ。り。ハ。その。る。

志^シ。り。漏^{モラ}。れ。り。な。る。傍^ナ。り。類聚國史^ニな。や。り。も。見^ミ。れ。ば。後^{ノチ}。り。字^ジ。脱^{ダツ}。せ。り。ハ。何。と。ま。て。又。類聚。集^シ。と。考^カ。あ。る。ふ。十八の巻^{マキ}。ま。じ。き。り。ハ。あ。ま。も。何。り。も。和の。字^ジ。と。書^カ。け。り。ハ。な。く。り。て。十九の巻^{マキ}。天平勝宝四年十一月二十五日。新嘗會^ニ。肆宴^シ。應詔^ニ。歌^{ウタ}。六首の中^{ナカ}。右一首大和國守藤原永手^ニ。朝臣^{チロウシ}。や。あ。る。これ。和の字と書^カ。る。始^{ハジ}。め。なり。又二十卷^{マキ}。先太上天皇詔^ニ。陪從^ニ。王臣^ニ。曰^{イハ}。夫^レ。諸^シ。王卿^ニ。等^ト。宜^シ。賦^シ。和歌^ニ。而^{シテ}。奏^ス。云^ク。右天平勝宝五年五月云^ク。や。あ。は。これ^ニ。始^{ハジ}。め。し。和歌^ニ。や。も。書^カ。り。その。く。り。れ。永手^ニ。朝

臣と大倭守をせしめ、上よ引る紀の文乃ごやとく。勝宝四年十一月乙巳、日少く乙巳ハ二日なるふ。そ狩ふは倭の字をりける也。は万葉より。その同月の二十五月は事ふ。和の字と書ふ也。を引合せくあひ事。まろやよ天平勝宝四年十一月の三日より二十四日までのあひより改めしれある。そのまろよとて又大倭、宿祢やいふ姓ハ。は養徳也。改めしれ。何もその字ふ志しぐひて。大養徳、宿祢やかれられ。和の字よ改まりある。何も。それより志しぐひは。養徳と改まりふ。

室字元年六月の丙申也。なむ倭字とくきて。同年十二月の文より。始めて大和、宿祢也。あり。そのころハ既り。姓氏の文字なむも。転よむり。あり。せそハ。か。必あやまより勅^{ミコト}りて。定案しれ。る。あ。は。名。の和乃字より成し。や。は。姓の字も。然改む。信き勅。ある。は。其。後。志。は。か。養^{モト}のま。ふ。書。ハ。此。姓。の。字。改。ま。り。勅。ハ。室。字。元。年。ふ。至。り。て。あ。ら。は。は。は。は。室。字。元。年。此。亦。ハ。姓。と。大。和。宿。祢。也。書。ら。し。て。ふ。名。の。方。ハ。そ。れ。より。改。ま。り。既。よ。改。ま。り。初。り。

ひ〜れ〜の〜たよ。そのき〜り〜ハ及ばざる〜や。
和の字〜改まりて後名畿内乃國名なすぬ〜は。
なす倭の字とも廢ステす〜はら續紀なす〜も。
倭根子天皇ミトネなす〜か〜れそのか〜もれわ〜思〜さ
皇。た〜は何事ミも。大号もハ〜純一玉の名〜りたこ
れ〜。そのなと改多〜れ起〜。ろ〜ハ何事ミもと
みる。和の字と用ひヒじとやヨロ〜た〜り〜をカケ〜す。

日本ニホム 比能母登ヒノモトや〜り〜も附ツふ

日本ニホムや〜ハ〜り比能母登ヒノモトや〜り〜號ナの者モノと書カケる

文字ナハ〜ハ〜異國アゲノクニ示シさむ〜た〜り〜とや〜ら〜ふ
建タテられ〜る號ナあり公式令詔書式シキハ明神御宇大八洲
天皇詔旨ミコトノサカヒや何ナニとば義解ギゲハ用於朝廷大事ウチノオホノチ之辞ノコトバ也ナリ
ひハ明神御宇日本天皇詔旨ミコトノサカヒあるをヲ倭ヤマト以テ大事オホノチ宣ノボ於ケル
蕃國ウチノクニ使之辞ノコトバ也ナリやい〜る代ヨリして知ヒ法ホウ〜。さて此號ナと
建タテられ〜るハい起ハれの時代ヨリぞや〜り〜。ま起ハ古事
記キハ此号ナ見ミ〜。又書紀皇極天皇の時代ヨリぞや〜。夜ヨ麻マ
登ノボせ〜り〜日本や〜れ〜るは後ノチハ此紀キと撰ユラバ
終〜時トキ改多〜れ〜。お〜してそのくみの文字

一、何々を孝徳天皇即位。大化元年秋七月丁卯、
 朔丙子、高麗百濟新羅並遣使進調云々。巨勢徳大臣詔
 於高麗使曰、明神御宇日本天皇詔旨云々。又詔於百濟
 使曰、明神御宇日本天皇詔旨云々。又詔於百濟
 新日本をいふ号と建て示し、その旨をいふ。又詔於百濟
 ける。故に記ぐ。乃詔のさへ、ハ異り、なむありき。
 ま、同二年二月甲午朔戊申、天皇幸宮東門、使藤我右
 大臣詔曰、明神御宇日本倭根子天皇詔於集侍卿等臣
 連國造伴造及諸百姓云々。これハ是、人々示以詔、

ハあつざれがも、此號を建られ、始めたる詔なり。が
 あり、かく宣て、皇朝の人やも、新號と示し、
 へる。されたり。の、あつざれば、日本倭根子や、倭
 きて、宣し、まを、ハ、や、や、く、を、同、の、あ、の、
 却、り、り、堂、なる、ハ、何、か、か、れ、の、日本、
 け、号、ハ、孝徳天皇の御世、大化元年、ふ、り、て、建
 せ、れ、る、こ、の、い、ち、を、あ、る、を、号、し、識、者、も、
 此、文、と、よく、考、す、る、あり、何、の、御、代、より、始、ま
 り、し、や、も、え、き、り、の、次、を、て、は、孝徳の御世

天保十一年號なすむも始まり。そのおかし新^{アラタ}し定^{サダメ}ぬれ部
 ふる^シやも多^タくれ^レ此^{コノ}号^{ケチ}の^ナ物^{モノ}事^{コト}も^モ由^ユ有^ル
 あ^ハ不^レゆ^ルた^リ。さ^レて^レ此^{コノ}と^トろ^クに^シ新^{アラタ}書^{カキ}を^モや^リ
 令^{コト}勢^セ強^クふ^リ。隋^{コト}の^チ代^ト中^ニぞ^シハ^シ倭^{ヤマト}名^ナのみ^ミい^ハり^と。唐^{コト}
 一^トし^のて^ハ始^メて^ハ日^ヒ本^{ホノ}名^ナと^シて^ハ新^{アラタ}唐^{タカラク}
 書^{カキ}ふ。日本^{ホノ}古^コ倭^{ヤマト}奴^ヌ國^{クニ}也^{ナリ}云^{ハク}。咸^{カン}亨^{コウ}元^{ゲン}年^{ネン}遣^{タテマツ}使^シ賀^カ平^{ヘイ}高^{カウ}麗^{レイ}後^{コト}
 稍^{チカ}習^ヒ夏^カ音^{オン}惡^{アク}倭^{ヤマト}名^ナ更^ニ號^ス日本^{ホノ}使^シ者^{シャ}自^ラ言^フ國^{クニ}近^ニ日^ヒ所^{ヨリ}出^ル以^テ為^ス
 名^ナ或^ハ云^{ハク}日本^{ホノ}乃^ハ小^コ國^{クニ}為^ス倭^{ヤマト}所^{ヨリ}并^ニ故^{コト}冒^ス其^ノ號^{ケチ}使^シ者^{シャ}不^レ以^テ情^シ故^ト
 疑^ヒ為^スや^リ。舊^{コト}唐^{タカラク}書^{カキ}し^ハ倭^{ヤマト}名^ナと^シ別^ニ挙^ゲて^ハ

日本國者倭國之別種也。以其國在日邊故以日本為名。
 或曰倭國自惡其名不雅改為日本。或曰日本舊小國併
 倭國之地。や^リ。あ^ハり^と。此^{コノ}号^{ケチ}の^ナ物^{モノ}事^{コト}も^モ由^ユ有^ル
 い^ハし^のて^ハ始^メて^ハ日^ヒ本^{ホノ}名^ナと^シて^ハ新^{アラタ}唐^{タカラク}
 書^{カキ}ふ。日本^{ホノ}古^コ倭^{ヤマト}奴^ヌ國^{クニ}也^{ナリ}云^{ハク}。咸^{カン}亨^{コウ}元^{ゲン}年^{ネン}遣^{タテマツ}使^シ賀^カ平^{ヘイ}高^{カウ}麗^{レイ}後^{コト}
 稍^{チカ}習^ヒ夏^カ音^{オン}惡^{アク}倭^{ヤマト}名^ナ更^ニ號^ス日本^{ホノ}使^シ者^{シャ}自^ラ言^フ國^{クニ}近^ニ日^ヒ所^{ヨリ}出^ル以^テ為^ス
 名^ナ或^ハ云^{ハク}日本^{ホノ}乃^ハ小^コ國^{クニ}為^ス倭^{ヤマト}所^{ヨリ}并^ニ故^{コト}冒^ス其^ノ號^{ケチ}使^シ者^{シャ}不^レ以^テ情^シ故^ト
 疑^ヒ為^スや^リ。舊^{コト}唐^{タカラク}書^{カキ}し^ハ倭^{ヤマト}名^ナと^シ別^ニ挙^ゲて^ハ

日本やいつ新号^{アキラキナ}に建^{タチ}しそやハハハ此方^{コノカタ}の人^{ヒト}乃^{ナリ}も
らし^{カク}ハ^{カタ}信^シち^カる^ルな^ニや^ニを^ル初^{ハジ}ぐ^ル事^{コト}の^ノり^ニそ
有^アる^{コト}也^{ナリ}。後文武天皇の法代^{ノリ}り^ニ栗田朝臣真人^{トシノ}を
大御使^{オホミツヒ}よ初^{ハジ}ま^シは^シを^ルり^ニそ^ノを^ルぞ^ノかの^ノ必^{カナラ}ず^シも^シ正^{ただ}しく
日本^ニや^ハハ^ハあ^ハれ^ル事^{コト}也^{ナリ}。此朝臣^{コノチノミ}か^レと^シふ^マり^テ著^{ツキ}と
す^ル時^{トキ}ハ^ハい^ハれ^ルの^ノ必^{カナラ}ず^シハ^ハは^ハど^ノや^ニみ^タれ^ル。日本
の^ノ使^{ツキ}なり^ニ也^{ナリ}。名^ナ乃^ノの^ノ一^{ヒト}也^{ナリ}。統紀^{トウキ}よ見^ミて^テ又^{マタ}純^{ジュン}唐^{トウ}
書^{ショ}ふ^もさ^レた^レぐ^ら乃^{ナリ}後^{ノチ}系^{ケイ}の^ノあ^ハり^ニそ^ノバ^ハみ^タる^事倭^{ヤマト}書^{ショ}の^ノ
方^{カタ}ハ^ハと^シる^事也^{ナリ}。日本^ニ必^{カナラ}ず^シい^ハふ^事方^{カタ}ハ^ハは^ハ高^{タカ}人^{ヒト}朝臣^{チノミ}の

ありの^ノも^トち^ニ。越^エ始^{ハジ}免^メ也^{ナリ}と^シて^テと^シる^事也^{ナリ}。一^{ヒト}時^{トキ}ハ^ハ純^{ジュン}唐^{トウ}は
武后^{ムコ}が^レ世^セなり^ニ也^{ナリ}。高^{タカ}成^{セイ}流^{リウ}り^ニ此^{コノ}号^{ガウ}を^シ唐^{トウ}武后^{ムコ}が^レ時^{トキ}ハ^ハ
かの^ノ必^{カナラ}ず^シ初^{ハジ}ま^シる^事也^{ナリ}。倭^{ヤマト}や^ハく^ハよ^クい^ハれ^ルハ^ハむ^クら^ル事^{コト}也^{ナリ}。
ら^レは^ハ由^ユあり^ニ。と^シて^テ又^{マタ}三^{サン}韓^{カン}の^ノ使^{ツキ}り^ニハ^ハ大^{ダイ}化^カ元^{ゲン}年^{ネン}ハ^ハは^ハは
ら^レ宣^{ノリ}か^レし^セも^トひ^ト一^{ヒト}也^{ナリ}。上^ノよ^ク書^キ紀^キと^シて^テい^ハふ^事也^{ナリ}。
お^ハや^ハく^ハな^レば^ハ。そ^ノの^ノ必^{カナラ}ず^シ乃^ノ東^{トウ}國^{クニ}通^{ツウ}鑑^{カン}の^ノい^ハふ^事也^{ナリ}。新^{シン}羅^ラの^ノ
文^{モン}武^ブ王^{オウ}十^{ジュウ}年^{ネン}の^ノ也^{ナリ}。し^テ乃^ノ倭^{ヤマト}國^{クニ}更^ス號^{ガウ}日本^{ニッポン}自^シ言^{ゴン}近^{キン}日^{ニチ}所^{ショ}出^デ
以^テ為^シ名^ナ也^{ナリ}。い^ハふ^事は^ハ。唐^{トウ}乃^ノ咸^{ケン}亨^{コウ}元^{ゲン}年^{ネン}ハ^ハは^ハは^ハ。多^タも^ト文^{モン}
色^{シキ}同^{ドウ}く^ハも^トれ^ルハ^ハ。は^ハ倭^{ヤマト}書^{ショ}と^シて^テ書^キる^事也^{ナリ}。あ^ハり^ニ。倭^{ヤマト}ハ

あつた。又、次ぎて東國通經ハ、かくさ師のうらまゝに、
事、新みぞおむり也。

日本やうも初巻るは、守り号のそハ、美玉と法照ミテラ——
ま——ま、日神大御神の生ニ中、せる法國やういふさう。
又ハ西蕃諸國シヤンタウより、日の出る方よあつた。さう、は二
部の中ふ、は——丸のハ、殊よそ、わのふくをすし、れやも。
そのくみ乃、次ぎてこの巻とあつた。が、不後のさう、そぞ
を、新けらるゝりきむ、此推古天皇の所、そよ、日出處、天
正ののさし、ひ、わ、う、——を、同、——さう、あ、す、なり。

夜麻登ヤマトやういふよ、日本やういふの、と、月、は、こ、や、ハ、書紀
より、は、ど、ま、り、り、そ、は、い、ま、ど、例、な、ま、事、う、そ、世、
人、乃、あ、や、ふ、侍、ま、な、り、神代、事、う、日本、此、云、耶
麻騰、下、皆、效、此、や、い、訓、注、ハ、ある、なり、古、事、記、ハ、大、化
の、年、より、は、る、ふ、後、う、あ、ま、あ、れ、や、も、は、な、る、の、文
字、も、何、も、あ、ま、く、書、傳、り、ま、あ、り、あ、る、さ、れ、て、夜
麻、登、う、あ、み、を、倭、字、と、の、み、く、ま、て、日本、や、か、れ、と
ふ、和、ハ、ひ、や、あ、も、た、す、と、書、紀、ハ、漢、文、と、く、ざ、り、字、と
あ、ら、び、て、か、れ、ら、る、た、り、あ、ら、び、こ、ふ、け、ヨキナと、あ、る

てかかれぬるなり。但し畿内の一玉乃やまやふハ
かろく倭やうる天の下神大号れりハ日本やうる
又一玉の名ろ時もあやけりかゆるとバ日本や
かきて紀中たあうは例る人あもけらるあ
まうして天皇の大御りハ日本さうぬ人のりハ倭
やかゆるり。神日本磐余彦天皇倭姫命ちあめご
ろ日本武尊ハ天皇の大御父り坐てまろ天
皇やひやうきゆあう日本やハかかれぬるなり。
比能母登やうり号ハたの書り見く父日本やいあ

はさハそのさるれやも。りや異國言志免さひと免
り設あまうるなればものりやうハ南文始免
より爾富牟や字音りぞひまひもあまう日本
之やあると。のりやのや訓るまうるあ後人の
志ひく五言小あむじとあひがらやうりて四言小
やまやのやうひばまかりと三の免かり不盡山の
長哥小日本之山跡國乃まや何るや續後紀十九卷
真福寺の僧の長あよ日本乃野馬臺能國遠云とま
日本乃倭之國波云とあやうあるさゆるあひの

のやりのなり。されどこの國號クニナヒといふなり。ハ何れに倭ヤマト
 といは事枕詞あり。それなり。初まておのれいまことせ
 かり。一程なり。とまなり。ハ。やま中と日本や書あり。
 その字けうらまをせざる訓とやそ枕詞なり。あまふ
 て春日ハルヒの春日カスガ飛鳥トトリの飛鳥アスカたゞく同例ありやと書
 あり。ハ。あゝざりま。春日ハルヒのうらやハ。まの日記
 のめりや。い。あ。さ。り。初まを飛鳥トトリの何れやハ。書
 紀なり。天武天皇の十五年改元曰朱鳥元年仍名宮曰
 飛鳥淨御原宮トトリノキヨミハラノミヤあり。これ朱鳥の祥瑞の物事なりと

也。と。あ。り。ひ。て。年号とも然改元とす。ハ。大文の号と
 も。飛鳥トトリ云々。ハ。初まを。さ。り。な。り。ざ。れ。ば。ら。れ。ハ。や
 あり。の。飛鳥トトリ淨御原宮キヨミハラノミヤと。い。は。ま。り。何れや。淨御原
 といは事ハ。な。り。地。名。な。れ。ば。ら。や。ま。の。初。ま。の。あ。
 仍名宮曰ナメノミヤ云々。と。い。は。ま。り。あ。り。ま。り。改。元。の。あ。
 倭。一。や。ま。の。や。ハ。は。は。虫。や。い。ま。り。同。例。と。そ。う。と。鳥
 の。こ。や。ま。の。り。ま。り。大文の号と然。い。ま。り。その地。名
 あり。も。冠。せ。ま。り。飛鳥トトリの。明。白。鳥アカスガハ。い。ま。り。ま。り。さ。り
 かり。と。春日。明白アカスガを。飛鳥トトリや。も。か。く。と。や。ハ。い。ま。り。

然るる松詞の字とてやそその地名の字やなを
 ふ物なりそハのあそあり一にそるやもやいふ
 松詞とやそそ奈良難波の事ありといふは松詞を松
 詞お似たりかれば春日^{ハレヒ}れ^ヒが飛鳥^{トビトリ}の明日香^{アスカ}とい
 るもその地名の字はうらやせらる。訓と松詞
 なせしハ何れぞれ^レもそのやれもまやも然^{シカ}もな
 あし又^トこれハ松詞のひめとやそそ字とて國名の
 夜麻登^{ヤマト}の字やそそ日本やかきりも何れぞればあ
 二部^ニの例も何れぞれ^レも日本の本國とる倭^{ヤマト}やいふ

こそりそ者なほそれりそりそ此松詞のり
 いや^{フル}た^{フル}くよりそりそ^{フル}やな^{フル}は孝徳天皇も日本^{ホム}
 やいふ名ハこれとたもりそそ建^{タテ}ふもひまむそ
 是^{コト}や^{フル}これ不^フ盡^ビ山のあハ^{フル}い^{フル}やも^{フル}た^{フル}か^{フル}い^{フル}そ^{フル}れ^{フル}よ
 己^{コト}何^{フル}な^{フル}こ^{フル}り^{フル}ハ見^{フル}ぞ^{フル}れ^{フル}バ^{フル}そ^{フル}は日本^{ニホム}や^{フル}い^{フル}號^{フル}のこ
 ころとあひひて後^{フル}り^{フル}い^{フル}ひ^{フル}を^{フル}免^{フル}却^{フル}り^{フル}も^{フル}何^{フル}れ^{フル}も
 けそのふ来^{フル}ハ^{フル}い^{フル}員^{フル}ま^{フル}が^{フル}う^{フル}か^{フル}ん^{フル}む。

豊^{トヨ}あ^{フル}と大^{オホ}て^{フル}ふ稱^{タメ}辞^{コト}

葦原^{アシハラ}中國^{チウゴク}秋津嶋^{アキツシマ}な^{フル}が^{フル}そ^{フル}り^{フル}豊^{トヨ}て^{フル}そ^{フル}と冠^{フル}り^{フル}そ^{フル}て^{フル}豊^{トヨ}葦^{フル}

原、中國豊秋津嶋ツといひ、八嶋倭ハなり。ハ、大オホてふを
 を冠ツせて、大八嶋大倭ハといふ。その國号のみふ
 も何れも、凡て豊トヨやも大オホやも、いふ例多き。みか上代
 代の稱タマヘ辞ヒコトあり。然ると大日本オホヤマトや、いふ大ハオホあり。こ
 れ必シして、當代ソノヨの玉号タマナヒともいふや、大漢オホミチ大唐オホタカや
 いふや、なまの玉号タマナヒといふ例コトあるハ、古のこやと
 あり。如例トヨアレハラのあり、あてのみ、ごり、ごや、なり。し、然ハ、
 の豊トヨ原ハラなるや、の豊ハ、いふや、いふむ。こハ、終玉ハハ、こ
 らう、ゆ、ぬ美称ミナナなるものとも、又、ちろ、し、ま、し、ハ、王の

母を太后オホキサレや、いふや、を皇の右ミハ、當御代ツノミの嫡后ミムカシメ
 を太后オホキサレや、申マウせのま、それくも、大オホや、いふや、次ツギなる
 う終玉ハハ、いふや、いふや、いふや、澄シラシたるを、然ると
 書紀フルキキハ、古称フルキキとあるを、大御母オホミハヤを、も皇太后ミムカシメや、記シ
 され、いふや、それぞ彼玉ハハ、いふや、いふや、いふや、いふや、
 書紀フルキキハ、はかく彼玉ハハ、いふや、いふや、いふや、いふや、
 於オホま、いふや、神代カムヤマトより、あり、いふや、事コトとも、いふや、
 似ニつ、いふや、皆みななる、いふや、いふや、ハ、疑ウタガあり、柳ヤナギ
 大オホ美称ミナナハ、大臣オホミ大連オホムラシなる、いふや、いふや、いふや、
 大オホ美称ミナナハ、大臣オホミ大連オホムラシなる、いふや、いふや、いふや、

みかひや上代より流るやうして大倭やいふるも
古事記の景行天皇御段より熊曾建が洵なり大倭玉
や見えしあゝ懿徳天皇孝安天皇孝靈天皇孝元天皇孝
昭の大倭名又古事記よりは意富夜麻登玖迹阿礼比
賣命や倭字より書る御名さうあるともや

大和や書くはなをいふ意富夜麻登やいふもさう
なり和名抄より畿内の大和も又そのは乃城下郡
ある大和やいふは於保夜萬止やあるともて知
はしと知るは倭の倭よりいふ夜麻登やのみいふ

かく大字の流るるをいふは夜麻登やのみよふはあ
夜麻登やいふよりかきしは大字と添てかく事や
いふはなをいふはみかひやいふは夜麻登やい
ふはハ和字のみいふけり但し諸名の名又那々の名
時必二字より書はしやの御定るれば畿内の名又
そのは名よりハ必大字と添書て意富夜麻登や訓ぞ
正しかりとす家

天明七年丁未秋發行

書林

勢州松坂日野町

柏屋兵助

京都寺町通四條上町

錢屋利兵衛

發行

書林

江戸日本橋通堂町目

須原屋茂兵衛

同 淺草寺町三丁目

須原屋伊八

同 日本橋通三丁目

山城屋佐兵衛

同 兩國横山町三丁目

和泉屋金右衛門

同 芝神明前

岡田屋嘉七

同 京都三條通升屋町

出雲寺文治郎

同 肥前佐賀白山町

紙屋惣右衛門

同 大坂南久寶寺町

榎並屋小兵衛

同 心齋橋備後町

近江屋平助

同 同慶寺橋通南久寶寺町

伊丹屋善兵衛

